

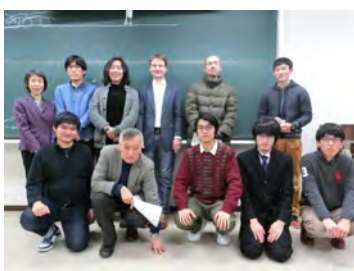


Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University

「世界」が日常

人間と環境の関わりに関する諸問題を国際的な視点から追究している大学院人間・環境学研究科 <通称「人環」(じんかん)> では、研究および教育の両面において、国際交流が重要な基盤となっています。このニュースレターでは、そのような人環の国際交流の一部を紹介しています。

研究者の交流



第56回国際交流セミナー
(2頁参照)

毎年本研究科から多くの研究者が学会参加や共同研究のために海外に出掛けます。また、多数の外国人研究者が本研究科を訪れ、研究、学会参加、学生指導などで目覚ましい貢献をしています(表1参照)。

年度	2011	2012	2013	2014	2015
外国人研究員 (客員教授・准教授)	5	5	5	5	5
招聘外国人学者	4	7	4	7	3
外国人共同研究者	4	1	2	1	3

表1 外国人研究者受入れ数(渡日時年度) (人)

2015年度、海外から本研究科を訪れた主な研究者は次の通りです(名前の後の()内は国籍/所属・身分)。

外国人研究員(客員教授・准教授) (2頁でセミナーの様子を紹介していますのでこちらも合わせてご覧ください)

- ・董海峰(ドン・ハイフェン)先生(中国/北京科技大学教授)
- ・Peter A. Tanner(ピーター A. タンナー)先生(中国/香港教育大学客員教授)
- ・Massimo Leone(マッシモ・レオーネ)先生(イタリア/トリノ大学教授)
- ・Matthias Fritsch(マティアス・フリツチュ)先生(カナダ/コンコディア大学教授)
- ・Monika Steffen(モニカ・ステファン)先生(フランス/グルノーブル第二大学教員、フランス国立科学研究センター上席研究員)

招聘外国人学者

- ・Dieter Spreen(ディーター・シュプレーン)先生(ドイツ/ジーゲン大学名誉教授)
- ・Stephan Koehn(シュテファン・ケーン)先生(ドイツ/ケルン大学教授)
- ・鐘(チン)チュウ(羽へんに中)先生(中国/上海師範大学教授)

外国人共同研究者

- ・Manuela Moscatiello(マヌエッラ・モスカティエッロ)博士(イタリア/ボローニャ大学研究員)
- ・Samir Marzouki(サミール・マズルキー)先生(チュニジア/マヌバ大学教授)
- ・Georges Ludi(ジョルジュ・リュディ)先生(スイス/バーゼル大学名誉教授)

国際交流セミナー

大学院人間・環境学研究科では、常時一名ないし二名の外国人研究員（客員教授・准教授）が研究に携わっています。研究科として先生方を歓迎し、また先生方には各自の研究成果を研究科に紹介して頂くため、先生方の講演と懇親会で構成された「国際交流セミナー」を開催しています。

第53回 2015年7月29日

演者 董海峰（ドン・ハイフェン）先生
中国・北京科技大学 教授
演題 中国の文化と教育



第54回 2015年10月9日

演者 ピーター A. タンナー（Peter Tanner）先生
香港教育大学 客員教授
演題 Ultramarathon Running



第55回 2015年12月17日

演者 マッシモ・レオーネ（Masshimo Leone）先生
イタリア・トリノ大学教授
演題 自然のいたずら：日本の水石、イタリアのパエジナ、
そのほか「自然にできる」美術品



第56回 2016年1月25日

演者 マティアス・フリッチュ（Matthias Fritsch）先生
カナダ・コンコーディア大学教授
演題 Taking Turns with the Earth: A Proposal for
Intergenerational and Environmental Justice
かわりばんこに地球に住もう-世代間環境正義に
関する一提言



外国人留学生

本研究科では多くの外国人留学生が勉学や研究に励んでいます。ちなみに、京都大学全体では2015年5月1日現在1,881名（留学ビザの者）の留学生が在学していましたが、そのうち119名が本研究科で学んでいました（表2参照）。これは本研究科の全在学学生647名（修士課程の学生、博士後期課程の学生、研究生、特別聴講学生、特別研究学生を含む）の約18%に当たり、また、その出身地は24の国及び地域に及んでいます（表3参照）。

1991年4月の開学から2016年3月までの間に、120名の留学生が博士の学位を取得しました。

表2 外国人留学生人数
(各年度5月1日現在、留学ビザの者のみ)

年度	留学生数
2011	121人
2012	118人
2013	111人
2014	99人
2015	119人

表3 留学生出身国地域別人数
(2015年5月1日現在)

中国	75	台湾	8	韓国	6
米国	5	フランス	3	ドイツ	2
ブラジル	2	ペルー	2	インド	1
インドネシア	1	ウクライナ	1	ウズベキスタン	1
オランダ	1	カナダ	1	グルジア	1
ニュージーランド	1	ハンガリー	1	ベラルーシ	1
ベルギー	1	マレーシア	1	モンゴル	1
リトアニア	1	ルーマニア	1	ロシア	1

計119

留学生オリエンテーション／懇親会

年度初め、新入留学生対象のオリエンテーションを行ない、引き続いて歓迎懇親会を実施します。懇親会是在学中の留学生や日本人学生也大歓迎！（写真は2015年度のオリエンテーション／懇親会の様子）



留学生見学旅行

本研究科では毎年11月、一泊二日の留学生見学旅行を実施しています。留学生の皆さんは、ぜひ申し込んで下さい（詳細は10月初めに発表予定）。（写真は2015年度留学生見学旅行から）



甲賀流忍者屋敷



鳥羽湾巡りの観光船



旅館の大広間で夕食



かまぼこ作りに挑戦



伊勢神宮（内宮）



賑わうおはらい町通り

学生の海外留学

海外留学には、京都大学が海外の大学と締結している大学間交流協定に基づいて留学する派遣留学、一般留学（学位取得過程での在外研究を含む）、語学留学など、さまざまな形態が考えられます。関心のある人は早くから準備を始めて、ぜひ夢を実現させて下さい（京都大学国際教育交流課発行「海外留学の手引」を参考にして下さい）。以下、2016年4月現在留学中の4人を紹介しましょう（説明は、名前、人環の所属、留学先の所属・身分、奨学金等、留学期間）。

岡部亜美さん（言語比較論・博士後期課程1年生）

オランダ ライデン大学人文学部 交換留学生
（独）日本学生支援機構奨学金（2016年2月-2016年8月）



水曜と土曜に立つライデンの市



日本語学科の学生と



パブクイズの様子



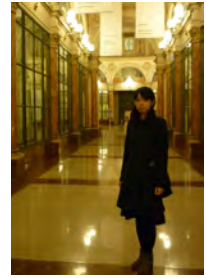
ボート部留学生チーム
（左から2番目後ろ姿が岡部さん）

井岡詩子さん（創造行為論・博士後期課程3年生）

フランス 国立社会科学高等研究院 博士課程聴講生
（2015年10月-2016年7月）



リュクサンブール公園の近くの校舎



研究院の建物で



パリに留学中の人環の学生さんと



国立近代美術館内の公共
情報図書館

町田奈緒子さん（人間形成論・博士後期課程1年生）

米国 ハーバード大学大学院 特別学生
京都大学ジョン万プログラム（2016年1月-2016年5月）



大学構内のハーバード氏の銅像の前で

寮の中



雪に埋もれたキャンパス

ボストン・パブリック・ライブラリー

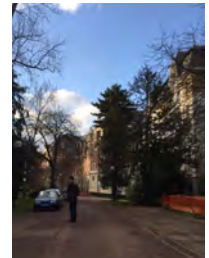


井上卓也さん（人間社会論・博士後期課程3年生）

フランス パリ第7大学精神分析・精神病理学研究科
博士課程1年（2015年12月-2018年6月）



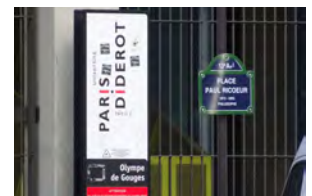
図書館のあるグラン・ムーラン棟



パリ国際大学都市内で



大学都市日本館前で



研究科があるオランプ・ド・グージュ棟

◇URL

<http://www.h.kyoto-u.ac.jp/jinkan/>→人間・環境学研究科案内→国際交流

◇問い合わせ先

*国際交流委員／留学生アドバイザー 藤田糸子
Phone: 075-753-6868
Email: fujita.itoko.7c@kyoto-u.ac.jp

*京都大学大学院人間・環境学研究科 大学院掛
606-8501 京都市左京区吉田二本松町
Phone: 075-753-2952
Email: 110jinkan_jimu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

